

## 研究主題

自分の言葉で伝え合うみずほっ子を目指して  
～言語能力の向上を図る各教科の研究～

## 研究仮説

ICT機器を効果的に活用した授業を行い、input⇔outputを意識して言語能力を高めることで、自分の考えを明確にもち、考えたことを自分の言葉で伝え合うことができる児童が育つであろう。

# 深い学びの実現

## 目指す児童像

自分の考えを明確にもち、考えたことを自分の言葉で伝え合う児童

### ICT機器の活用

課題をもつ導入場面で

### ICT機器の活用

対話の場面で

## 思考力

自分の考えを  
もつ力の育成

## 表現力

自分の考えを  
表現する力の育成

## input

- ⇒考えたくなる、表現したくなる課題の提示。
- ⇒複数の資料を比較したり、関連付けたりするための「見方や考え方」（思考ツールなど）の指導。
- ⇒単元や本時で使いたい・使わせたいキーワードの明確化。教科の用語を使うことの習慣化。

## output

- ⇒接続詞（そして、まず、次に、だから、例えば、つまり）の指導。
- ⇒三角ロジック（自分の考え・理由・根拠）の指導。
- ⇒対話のトレーニング。
- ⇒自分の考えや思いを伝え合う場の設定
- ⇒自分の言葉で語りたくなる教材の工夫（活用問題）。
- ⇒児童の考えを引き出す教師の発問（切り返し、深める）。

言語能力を高める

思考力や表現力を支える

語彙力, 学びの基礎・基本

# 深い学びとは？

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。中央教育審議会答申（平成28年12月）より

精査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考えを伝え合うことを通して集団としての考えを形成したりしていくこと

瑞穂小は、

自分の考えを明確にもち、考えたことを自分の言葉でまとめ、伝え合う児童を目指す！

## Bring out ICT機器の効果的な活用（水やり）

- ・ICT機器を活用して、拡大された挿絵や写真等から情報を取り出すことができる。【一斉学習】
- ・ICT機器を活用して、自分に合った進度で学習したり、自らの疑問について深く調べたりする。【個別学習】
- ・ICT機器を活用して、対話場面で自分の考えや思いを交流し、学びを深めることができる。【協働学習】

## Base of the study 日常の鍛え（土づくり）

- 自分の考えをもち、自分の考えを表現するための学び方を知る。【言葉の宝箱、思考ツールなど】
- 思考力や表現力を支える語彙力や算数の基礎を身に着ける。【辞書引き、漢字検定、俳句作りなど】
- 相手の話を聴き、相手から学ぼうとする姿勢を身に着ける。【QUを生かした学級づくり、NRTとQUのクロス集計】